☆かがやけ☆

倉敷市立上成小学校
学校だより　第１１号
令和6年1月9日（火）

気持ちを新たに！　学年のまとめ、進級・進学に向けて！

新年あけましておめでとうございます。保護者の皆様には、旧年中は本校の教育活動に御理解と御協力をいただきましたこと、改めて深く感謝申し上げます。

さて、３学期が始まりました。２週間あまりの冬休みが終わり、明るく元気な子供たちが学校に戻ってきました。冬休みの間、御家族の方との温かいふれあいによりエネルギーを蓄え、気持ちを新たにさらにやる気をもって新学期を迎えている様子が子供たちの表情から伝わってきました。今学期の子供たちの活躍を大いに期待しています。３学期は期間が短く、実際に登校する日は、１～５年生は５３日間、６年生は４９日間しかありません。一方、学年のまとめの学期であるとともに、進級・進学に向けた準備の学期でもあり、とても大切な学期です。特に、６年生は卒業、５年生は最高学年に向けて、自覚や意欲をより一層高めることが求められます。１～４年生も一つ上の学年を意識して生活することが大切になってきます。

今学期も、新型コロナウイルスやインフルエンザの感染予防など、子供たちの健康管理には十分に留意しながら、子供たちにしっかりと寄り添い、一人一人の学校生活の充実を目指して、教職員一丸となって指導に努めていきます。保護者の皆様には、昨年同様、お力添えをどうぞよろしくお願いいたします。

《始業式で子供たちに話したこと》

みんなが楽しく充実した学校生活を過ごせるようにし、学年のしめくくりをしっかりとしよう！

◎進級や進学に向けて、次の２つのことを大事にしよう！

１　３つの重点課題について、今の学年の最高レベルに高めよう！

- ■「『か・が・や・け』上成小の子供」＝考える力・頑張る力・優しさ・元気
- ■「 上成小のＡＢＣＤ（凡事徹底）　」＝当たり前のことがきちんとできる力
- ■「ハート＆スマイル！チーム上成小」＝温かい心と笑顔でつながり合ったチーム力

２　「夢や目標につなげる気持ち（志）」をもって、勉強や仕事などに取り組もう！

大聖堂建設に向けたレンガ積みの仕事に対して、作業としての仕事、金もうけとしての仕事、町中の人を笑顔にするための仕事と、それぞれに捉える「３人のレンガ職人（イソップ寓話）」の話を通して、同じ勉強や仕事でも目的意識の違いで成果が異なることを確認し、「夢や目標につなげる気持ち（志）」をもって、勉強や仕事などに取り組むことの大切さを伝えました。

望ましい人間関係をつくり出すことができるよう、「自己有用感」を育む！

２学期の終業式に、冬休みに大切にしてほしいこととして、家族の一員としての役割を果たすことについて話しました。お手伝いや大掃除、片付けなど、任された仕事を頑張った子供たちは、おうちの人から感謝されてうれしく感じたことと思います。「自己有用感」とは「人の役に立てた」「人に喜んでもらえた」といった、自己に対する肯定的な評価であり、「自己肯定感」に含まれる感情と言えます。一方、相手の存在なしには生まれない感情であり、相手からの評価を感じたうえでなされます。「自己有用感」を抱くことができれば、自分の行動に自信と誇りをもつことができ、自ら望ましい人間関係をつくり出すことができると言われています。本年度は、同学年での協働的な活動のみならず、異学年での交流活動の充実を図っていますが、今学期も、他者と進んで関わり、人の役に立つことができる場や機会をつくり、子供たちの「自己有用感」を育んでいきたいと考えています。